

議員提案第63号

国民健康保険への国庫負担引き上げを求める意見書の提出について

このことについて、次のとおり意見書を提出するものとする。

平成22年3月23日提出

新潟市議会議員

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

藤田 隆

渡辺 仁

青柳 正司

下坂 忠彦

串田 修平

木村 文祐

遠藤 哲

渡辺 孝二

小山 哲夫

渡辺 有子

本岡 良雄

室橋 春季

加藤 大弥

小山 進

## 国民健康保険への国庫負担引き上げを求める意見書

国民健康保険料が高く、市民の生活を圧迫し困窮をきわめております。

新潟市国保会計に占める国庫負担金の割合は、1983年には55.6%でしたが、それがどんどん減らされ、2008年度決算では24%と半分以下になっています。高い国保料の根本原因には、この国庫負担の大幅削減があります。

今国会の予算委員会で鳩山首相は、国庫負担の削減が高い国保料の原因になっていることを認め、「財源の確保に努力したい」と答弁しています。

「国民健康保険法」第4条には、「国の義務」として、「国は、国民健康保険事業の運営が健全に行われるようにつとめなければならない」と規定しています。

この趣旨に照らしても、全国的にも苦しい財政運営を余儀なくされている国保への国庫負担を引き上げ、本来の社会保障制度としての役割を果たすべきです。

よって、国及び政府に対し、国民健康保険への国庫負担を早期に引き上げるよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

平成22年3月23日

新潟市議会議長  
志田 常佳

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
厚生労働大臣

あて